

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

自由民主党
鈴鹿市議団

宮木 健 議員

子育て支援の取り組みについて

(質問) 公立・私立の今後の在り方について、令和5年度までに施設整備を進める方針が出ているが、公立・私立の休日保育などの体制への対応を含め職員の待遇について問う。

(答弁) 公立幼稚園は5園に集約し、公立の果たすべき役割について整理する。私立保育園2園の休日保育実施園に対し本年度補助金を創設した。保育士の人材確保は情報発信の他、継続雇用、経験年数を配慮した補助金を創設した。

その他の質問 ○鈴鹿市の道路情勢 ○公共交通の取り組み ○耕作放棄地・荒廃農地の有効活用



公明党

池上 茂樹 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

(質問) 市役所1階で行う期日前投票は選挙人と一般の来庁者の密の回避が重要であり、期日前投票所をイスのサンケイホール鈴鹿に移し感染対策に努めるべきでは。また、期日前投票時の密を避けるため白子地区市民センターを第3の期日前投票所として分散投票を進めるべきでは。

(答弁) 本庁舎期日前投票所のイスのサンケイホール鈴鹿への移設の可能性について検討する。期日前投票所の増設により選挙人が3カ所に分散し、密を避ける効果が期待できるため、白子地区市民センターでの期日前投票所の増設に向け準備を進める。



公明党

藤浪 清司 議員

社会的孤立防止について

(質問) 独居の高齢者・障害者、うつ・ひきこもりなど、コロナ禍で深刻化している社会的孤立防止対策について尋ねる。また、高齢者や障害者などの避難行動要支援者ごとに作成する個別避難計画の作成への取り組みについて尋ねる。

(答弁) 社会的孤立の相談支援として社会福祉協議会などと連携しアウトリーチ支援の充実を図り、農作業を通して社会的関係を築く仕組みを考えている。令和3年3月末時点で災害時要援護者台帳登録者数は9,566人。介護専門職などの協力を得て、優先度に応じた個別の避難計画作成を進めたい。



公明党

船間 涼子 議員

コロナ禍の生活の負担軽減

(質問) コロナ禍における女性の負担軽減となる生理の貧困対策として、防災備蓄品を活用した、必要な方への配布と学校や公共施設のトイレへの配備について尋ねる。相談・支援の拡充、障害者の日常生活用具給付の拡大について伺う。

(答弁) 防災備蓄品として確保していた生理用ナプキンを健康福祉政策課など6カ所で、7月1日から無料配布する。また、各学校では希望する児童生徒へ配布したい。今後、相談・支援を継続して実施する。知的障害者の方への紙おむつの支給は、財源確保など慎重に判断していく。



鈴鹿太志会

水谷 進 議員

神戸地区の交通安全について

(質問) 歩行者の安全対策を地域が考え独自に設定するゾーンについて行政の対応は。

(答弁) 全国的にも「自分たちの町は自分で守る」といった意識の下、“いたわりゾーン”など独自ゾーンを設定し住民活動を行っている地域がある。各地区の自治会や地域づくり協議会、学校関係者などから独自ゾーンの設定など交通安全活動を実施したいという相談があれば啓発看板などの施工方法や施工時に必要となる道路占用など行政手続きについて関係部局と調整を図りながら対応したい。

その他の質問 ○金沢川



新緑風会

宮本 正一 議員

自転車通学路の安全対策について

(質問) 自転車保険加入の周知と自転車通学路の安全対策を問う。

(答弁) 三重県交通安全条例が施行され、自転車運転者の自転車損害賠償責任保険などへの加入義務が規定された。その内容は入学説明会や学校だよりなどを通じ保護者への周知を進めている。通学路は、雨天時の状況も把握して点検を行い、危険箇所については、鈴鹿市通学路交通安全プログラムにのっとり関係機関と連携し対応を協議する。

その他の質問 ○働き方改革と保育所運営

